

# 新着図書案内

<b>総記</b>	沈みゆく大国アメリカ	家に帰ると妻が必ず死んだふりをして	乱反射
朝日新聞記者のネット情報活用術	「空き家」が蝕む日本	ブッダ 第1巻～第9巻	愚行録
ビッグデータの覇者たち	どこまでやったらクビになるか	手塚先生、締め切り過ぎてます!	枯葉色グッドバイ
タブーの正体!	ブラック企業ビジネス	亀倉雄策の直言飛行	ベイ・ドリーム
戦場からスクープ!	ルポ賃金差別	江戸の気分	ピース
<b>哲学・心理学</b>	平安女子の楽しい生活	<b>言語</b>	まほろ駅前多田便利軒
脳あるヒト心ある人	無業社会：働くことができない	聞き上手は一日にしてならず	まほろ駅前番外地
キリスト教入門	犯罪者はどこに目をつけているか	伝えるための教科書	あなたへの想い
<b>社会学</b>	〈できること〉の見つけ方	<b>文学</b>	六花の勇者1～5
新・墮落論	スギナの島留学日記	清冽：詩人茨木のり子の肖像	検事の本懐
独立国家のつくりかた	ドキュメント高校中退	震える牛	お菓子の家
だから日本はズレている	大学入試担当教員のぶっちゃけ話	羅生門	女たちは二度遊ぶ
ねじれの国、日本	危ない大学	浜村渚の計算ノート1～5	Pandora hearts 1～3
いつだって大変な時代	ハーバード白熱日本史教室	ようこそ、わが家へ	愛と暴力の戦後とその後
イスラム国の衝撃	シャドウ・ダイバー	カード・ウォッチャー	生き地獄天国：雨宮処凛自伝
14歳からの靖国問題	<b>自然科学</b>	高野聖	美女と言う災難
警視庁科学捜査最前線	マンガでわかる有機化学	第三の買収：企業法律小説	この話、続けてもいいですか。
実録・警視庁公安警部	せいめいのはなし	天鏡のアルデラミン 5・6	間抜けの構造
公務員試験のカラクリ	動物の値段	追悼者	ヒンシュクの達人
東京の副知事になってみたら	メスの流儀オスの流儀	福家警部補の挨拶	作家の放課後
日米同盟vs.中国・北朝鮮	大学病院のウラは墓場	無理 上・下	僕の妻はエイリアン
決断できない日本(にっぽん)	東大病院研修医	ソードアート・オンライン 14・15	テッカ場
10代の憲法な毎日	<b>技術・家庭</b>	悪果	ボクには世界がこう見えていた
日本人のためのピケティ入門	ご当地電力はじめました!	アジアの隼 上・下	漢詩のレッスン
21世紀の資本	世界一のトイレウォッシュレット開	疑心：隠蔽捜査 3	遮断地区
円安恐慌	服を作る	蟹工船	吊るされた女
「生きづらい日本人」を捨てる	<b>産業</b>	墮落論	キャサリン・カーの終わりなき旅
外資系の流儀	セーラが町にやってきた	翼	イスタンブールの群狼
経営センスの論理	21歳男子、過疎の山村に住むことにし	ウロボロスORIGINAL NOVEL イクオ篇	暗殺者の正義
不機嫌な職場	さよならニッポン農業	ウロボロスORIGINAL NOVEL タツヤ篇	二流小説家
「文系・大卒・30歳以上」がクビになる	クレイゴトめきの農業論	標的の男	KGB(カーゲーベ)から来た男
給与明細は謎だらけ	人とミルクの1万年	謀略：警視庁追跡捜査係	追撃の森
池上彰のお金の学校	営業部はバカなのか	虚報	極夜：カーモス
世紀の空売り	成長から成熟へ	第四の壁：アナザーフェイス 3	沈黙のエクリプス 上
言葉が足りないとサルになる	TPP亡国論	消失者：アナザーフェイス 4	暗黒のメルトダウン 下
日本人はなぜ足元を見られるのか?	<b>芸術・スポーツ</b>	デュラララ!! ×1～13	沈黙のエクリプス 下
郊外はこれからどうなる?	日本の国宝、最初はこんな色だ	山月記	暗黒のメルトダウン 上
「お客様」がやかましい	空白	サラバ! 上・下	水の闇を越えて

ちょこっと

図書館学 ~その1

勉強や趣味、クラブ活動などで、ある事柄について調べたいとか、知りたいときあなたはどのようにして、必要とする情報を手にしていますか？友達や先生に聞きますか本屋に行きますか。それともインターネットにアクセスしますか。それらもひとつの方法ですが、実は、情報を探するためのアクセスポイントとして、最も頼りになるのは、図書館なのです。

図書館というと、このインターネットの時代に、古い本や雑誌だけが並んでいると思われるかもしれませんが、しかし、インターネットの時代だからこそ、その機能は重要になっています。情報の流通は、情報の内容、種類形態の多様化とともに、複雑になってきました。インターネットは便利ですが、そこに公開されている情報は玉石混交で、最近の断片的な情報が中心です。検索エンジンで探しても、信頼性のある情報が、いつもうまく見つかるとは限りません。情報の流通において、過去から現在まで、多くの情報を収集し、蓄積し、いつでも探し出せるように効率よく整理し、私たちに情報サービスしてくれる機関—それが図書館なのです。